



4月からの診療変更のお知らせ

耳鼻咽喉科 野田 実里 医師 ↓ 浦口 健介 医師 (岡山大学病院)	皮膚科 山本 アリア 医師 ↓ 寺尾 美咲 医師 (岡山大学病院)	産婦人科 谷岡 桃子 医師 ↓ 栗山 千晶 医師 (岡山大学病院)	糖尿病内科 毎週水曜日 AM 高橋 北斗 医師 (岡山大学病院) 毎週木曜日 AM 片山 晶博 医師 (岡山医療センター) PM 高橋 北斗 医師 (岡山大学病院)	内視鏡 毎週月曜日 山根 弘路 医師 (川崎医科大学総合医療センター)	内科 常勤 千代延 稜太 医師 常勤 4~7月 伴場 友香 医師 毎週火曜日・水曜日 高橋 北斗 医師 (岡山大学病院) 毎週金曜日 立上 大紘 医師 (岡山医療センター) ※水曜日は糖尿病内科担当
--	---	---	--	---	---

お知らせ

- 心臓血管外科の診療は3月末をもって終了となります。
- 4月より、第3土曜日は全科休診とさせていただきます。

TOPICS 2

真庭支部看護研究発表会

2月12日(木)勝山文化センターにて第51回岡山県看護協会真庭支部看護研究発表及び看護実践報告会が開催されました。市内の病院や市役所に勤務する看護師から5題の研究発表があり、当院からは腎セクターの飯田満理さんが「A病院における腎セクタースタッフのシヤント管理に関する実態調査」の演題で研究発表を行いました。発表後の講評では、根拠に基づいた看護実践につながることを、臨床判断能力が上がることを高く評価していただきました。今後とも情報を共有し、地域医療に活かしていきたいと思っております。



TOPICS 1

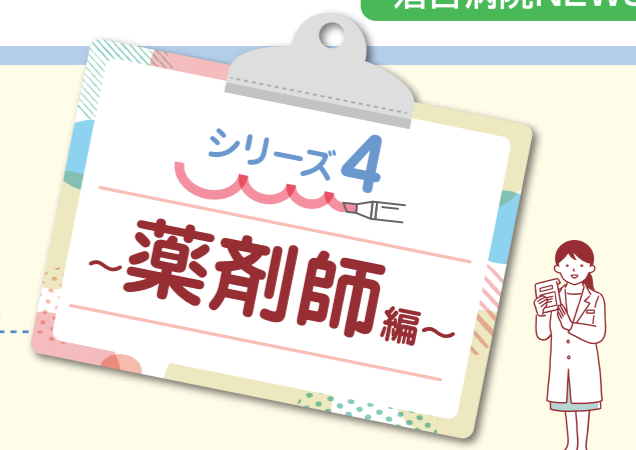
院内災害時訓練を行いました



1月31日(土)院内災害時訓練を行いました。震度5強の地震が発生した想定で、傷病者に対応するための院内体制の移行および診療エリアの設置といった初期対応の流れを確認しました。発災による全館放送のあと、災害対策本部を設置し、診療モードに応じてスタッフが各診療エリアに移動、外来の椅子を動かす、役割分担、必要物品の準備を行います。受け入れ準備完了後に傷病者を受け入れ、トリアージ後に各エリアへ搬送、指揮所での患者情報の収集と

病院で働く人たち

病院で働くには、どんな資格が必要か？ また仕事の内容や特徴などをシリーズでご紹介します。第4回は「薬剤師」です。



薬剤師になるには？

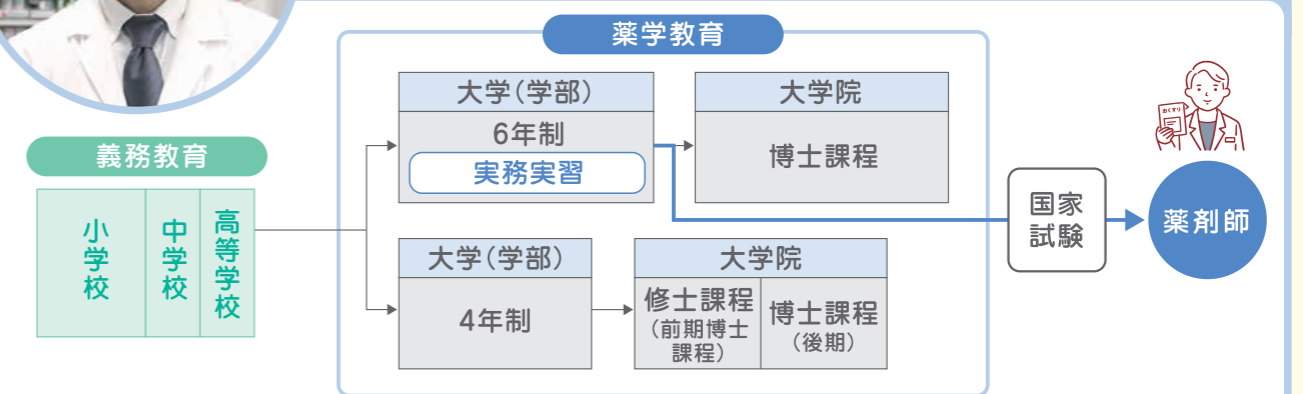
薬剤師になるには6年制の大学が必須ルートです。

高校卒業後、薬学部のある6年制の大学に進学し、薬学について学びます。薬の構造や化学反応、体の構造や病気がなぜ起こるのか、薬が体に効くしくみなどについて6年間学びます。5年生の時には病院、調剤薬局でそれぞれ11週間ずつの「実務実習」を経験し、処方せんの見方や、患者さんへの接し方など病院や調剤薬局で働く薬剤師の実際の仕事について学びます。6年間の薬学課程を修了したら、毎年2月に実施される「薬剤師国家試験」を受験し、合格すると薬剤師免許を取得できます。



薬剤師が働く場所 病院、調剤薬局、ドラッグストア、製薬会社、行政機関(保健所)など

日本の薬学教育制度



病院薬剤師

調剤業務 調剤業務とは、医師が発行した処方せんをもとに、患者さんに安全で適切に薬を渡すまでの一連の流れのことをいいます。処方について、年齢や体重、体調に合った量になっているか、飲み合わせ(相互作用)に問題はないか、他の内服中の薬と重複していないかなど、処方の確認を行います。処方内容に疑わしい点があった場合は、処方医に処方内容に間違いがないか疑義照会を行い確認します。処方内容が正しいと確認できたら、処方せんに基づき薬を準備します。最後に、準備した薬について本当に間違いのないかもう一度確認、監査を行ってから、患者さんに渡します。	注射調剤業務 医師の処方について、投与量や配合変化、相互作用など確認し取り揃えを行います。抗がん剤や中心静脈栄養など、危険性が高い薬や特に無菌調整が必要な注射薬については、安全キャビネットやクリーンベンチを使用し、薬剤師が調整を行っています。	病棟薬剤管理指導業務 薬剤師が入院患者様のベッドサイドにお伺いし、処方されている内服薬・注射薬について、飲み方、効果や副作用について説明したり、薬が正しく使用できているか、副作用が出ていないかなどを確認をしたりします。患者様の状態を確認し、問題のある薬剤がある場合は、医師に対し薬の中止や変更、より効果的な薬剤についての処方提案を行います。
製剤業務 市販の医薬品だけでは対応できない場合、処置に使用する薬の調整や軟膏の混合、点眼薬の無菌調整などを行います。	医薬品情報管理業務 日本だけでも1万数千品目以上発売されており、新しい薬も毎年発売されています。使用方法や副作用などたくさんの情報を管理し、必要な情報を提供することも薬剤師の大切な仕事です。	